

(国)(民)(年)(金)があなたに

(し)(あ)(わ)(せ)を.....

月100円~150円の掛金で

老後の保障を約束します

国民年金制度は、みなさんが働ける間に掛金をかけておき、年老いたとき、事故で身体障害者になったり、または、夫と死別して母子家庭となった場合などに、それに応じた各種の年金が受けられるような仕組みになっております。

そこで、このような人を対象として生れたのが国民年金でありますまだ加入していない方がありましたら一日も早く加入して老後の保障、不事の災難に、そなえて下さい。国民年金への加入は、直接加入者のみなさんに、しあわせを約束する制度です。

◇ 必ず加入しなければならない人は...
昭和36年4月1日現在で20才以上50才未満の人と、その後20才になられた人で他の公的年金制度(厚生年金保険、船員保険、各共済組合の恩給など)に加入していない人です。

◇ 本人の希望で加入できる人は.....
他の公的年金制度に加入している人の配偶者(勤め人の奥さん)や、他の年金制度から年金や恩給を受けている人や受ける資格のある人です。

◇ 掛金(保険料)は.....
20才以上35才未満の人は月額100円、35才以上の人は月額150円です。

◇ 加入しても掛金をかけられない人は.....
納める期間が長いので、途中生活保護法の適用を受けるようになったり、国民年金の障害年金、母子福祉年金、準母子福祉年金を受けるようになったと

き、または、収入の少ないときは、免除の届出をすれば、その間は、掛金が免除されます。なお、免除されていた期間も、国では保険料の半額を、あなたの保険料として積立しています。

◇ 他の年金制度に移ったときは.....
国民年金に加入していた人が、途中、厚生年金などの他の年金制度に移った場合や、また、それとは逆に、他の年金制度から国民年金に移った場合にはそれぞれの制度に加入していた期間を合算した年金が支給されますから、掛け捨てはなくなり、たいへん有利です

◇ 年金をもらう前に死亡した時は.....
3年以上、保険料を納めた人が途中死亡したときは、保険料を納めた期間に応じて、遺族に、死亡一時金(最低5,000円から、最高5万2,000円)が支給されます。

◇ もらえる年金のいろいろ

種類	もらえる年金のいろいろ	年金の額
老令年金	65才になったとき。(希望によっては60才から)	12,000円~42,000円
障害年金	1年以上保険料を納めていて身体障害者になったとき。	24,000円~42,000円 (重い障害者は6,000円加算)
母子年金	1年以上保険料を納めていた妻が、夫と死別し18才未満の子を養っているとき。	19,200円~25,800円
準母子年金	1年以上保険料を納めていた祖母、または、姉が夫と死別し、18才未満の孫または、弟妹を養っているとき。	{ 子供2人以上の場合 } は1人増すごとに4,800円加算。
遺児年金	1年以上保険料を納めていた両親と死別し、18才未満の孤児となったとき。	12,000円~21,000円 (加算額は母子年金と同じ。)
寡婦年金	10年以上、夫とつれそっていた妻が、夫と死別し、夫が老令年金を受ける資格があるとき。	6,000円~12,000円 (60才から~65才まで)

☑このたび、次の方がたが、年金協力員として県知事から委嘱されました。11月に入ると、年金係員が年金協力員のところへ印紙の売りさばきと、検認にまいりますので、各被保険者は年金

手帳と、保険料を年金協力員のところへ届けておいて下さい。なお、年金協力員に対して、納付組合をつくるようお願いしてありますから、組合に加入されるよう、おすすめいたします。

《釈迦内地区》

- 小釈迦内 長面 佐々木半次郎
- 布谷 専二
- 日景町①日景岩蔵 長面袋 上村 清利
- 日景町② 商人留①
- 宮田喜代治 三浦三右エ門
- 向羽立 渡部 長吉 商人留③三浦卯一
- 獅子ヶ森① 松峯① 畠山 慶治
- 日景浅太郎
- 獅子ヶ森②山内久吉 松峰②畠山 亀松
- 大通 日景 賢二 松木①
- 菅原三郎兵衛
- 中通 千葉 二郎 松木②佐藤 喜作
- 上通 伊藤 悦二 沼館①田山 久美
- 山神台 小松 慶隆 沼館②田山由太郎

《長木地区》

- 上代野田中 清造 才ノ神 近藤 金助
- 下代野①田中利一郎 小雪沢川田 久定
- 下代野②石田源次郎 大明神丸岡 与市
- 下代野③石田 忠 新 沢 工藤宇吉郎
- 下代野④石田信雄 赤 沢 佐々木茂見
- 東二ツ屋田中徳治 黒 沢 斎藤千代松
- 宮 袋伊多波祥一 茂内屋敷 畠山新五郎
- 大茂内①山内堅治 二ツ屋 石川 忠
- 大茂内②地代吉治 石 淵 石田新太郎
- 大茂内③山内三郎 水 沢 浪岡善栄治
- 小茂内 泉 忠吉 籠 谷 岩間 亮二
- 芦田子田村金四郎 嶺ヶ岱 浪岡忠之助

《上川沿地区》

- 中山 糸屋信一 池 内 畠山 喜蔵
- 沢 山 関長之助 根下戸 田中清太郎
- 羽 立 菅原隆二 舟 場 釜谷三八郎
- 餌 釣 兜森竹治 萩ノ岱 畠山 豊治
- 小館花 伊藤幸二郎

《下川沿地区》

- 片山①斎藤伊左エ門 川口③佐藤 佐市
- 片山② 斎藤一男 川口④ 斎藤 新蔵
- 片山③ 斎藤誠一 川口⑤ 伊藤 良助
- 餅田① 村尾五六 川口⑥ 小松原良一
- 餅田②高清水清八 鳴 滝 佐藤 精二
- 山田渡 蛇川 照 大道下 工藤 三郎
- 赤石沢佐々木ヨ子 横 岩 佐藤 俊次
- 川口① 蛇川徳治 立 花 長崎 祥悦
- 川口②小林清一郎

《真中地区》

- 櫃 崎 蛇川政吉 小 袴 佐藤 稔
- 高戸谷 蛇川耕一 大 披 武田 勝治
- 赤 石石戸谷岩吉 出 川 佐藤文一郎
- 板 沢石戸谷錦吉 下川原 工藤 鶴治

《二井田地区》

- 下 村 柳谷三郎 上高村中台安達順一
- 町 嘉成貞利 上四羽出
- 小畑千代三郎
- 館 一関正二 下四羽出小畑五郎蔵
- 小坪川原大沢藤兵衛下川原 秦 金光
- 下高村 伊藤一男 本 宮 小沢鉄之助
- 前 田 芳賀久助 大子内
- 斎藤七郎右エ門
- 杉 沢 武田桂助 奥前田 芳賀 祐治
- 羽 立 斎藤三郎

《十二所地区》

- 大滝①奈良 道夫 葛原①木次谷源十郎
- 平 内 近藤玉吉 葛原②木次谷 俊夫
- 中 町高田吉次郎 猿 間 中山 菊三
- 上新町 佐藤義雄 浦 山 高松良之助
- 別 所 畠山幸吉 軽井沢②柴田専一郎
- 沢 尻 田村 晃 曲 田 畠山金五郎
- 道目木奈良定五郎 葛原開拓小金 幸治